

## いま旬のフルテックの電源アクセサリー

A thorough investigation of two models of Furutech power distributors and power cords to test their performance and expressive capabilities.

オーディオの電源経路は、システムの大元だけに良質なもので整えるのがセオリー。では、電源ボックスやケーブルの吟味で、どんなクオリティアップ効果を実現できるのだろうか。ここでは、電源周りのアクセサリーに豊富で有力なラインアップを誇るフルテックを代表する各2モデルを揃え、音の魅力と特徴を入念に試聴。さらに、使いこなしアクセサリー「NCFブースター」の効果も確認した。

Photo by 田代法生

### FURUTECH GTO-D2 NCF(R) & The Empire

電源ボックス ¥136,367(税込) &  
電源ケーブル ¥52,877(税込) (写真右側)

### e-TP609 NCF & Powerflux-C-15 NCF-18

電源ボックス ¥236,555(税込) &  
電源ケーブル ¥389,620 / 1.8m(税込) (写真左側)



### NCF Booster-Signal-L

ケーブルホルダー ¥20,592(税込)

#### Furutech NCF Booster-Signal-L

In choruses, the reverberation fills the soundstage, while orchestral performances exhibit an even more robust sharpness. In both cases, the crucial factor is the definitive utilization of energy, leaving no potential untapped.

クオリティアップに有効な電源経路の構築を志す。この電源ボックス2モデル。これに電源ケーブルを組み合わせて、電源経路の構築をしたい。

● GTO-D2 NCF(R) & The Empire  
ひとつはGTO-D2 NCF(R)。アルミ筐体のフルテック最新モデルで、フッ素被覆のコンセンストロート始末随所にNCFを用いて静電気絶を徹底している。また電ケーブルはPC・Tether-Drive Cによる定番のTher-Drive Cを使用した。

音質は隠れた宝だが、音の背がちゃんと立っているのがわかる。色音は、闇の黒さが段々濃くなった印象である。

バックははれによって粒立ちの快さが際立つ。古楽器のやかや軽やかな音が生き生きと立ち上がり、アサンブルが多彩な賑やかさに映っている。



Text by  
**井上千岳**  
Chitake Inoue

回り高リ位置なものになっている。  
コーラスは兄連である。響きも  
豊かで美しく、それが、体的に積  
み重なって心が洗われようという気  
がする。隅々まで信厚に汚れず、  
微細な凹凸が歪みなく、きれいに引  
き出されているかのようにいい。  
オーケストラは、楽器の色彩感が  
明瞭で、新鮮さがあふれている。木  
管楽器の肉質感、音に粘りのあ  
る手触りや弦楽器の切々するような  
強烈なタッチが、多彩な音源で、  
silence in the surroundings allows the  
drum remains robust and grand. All of  
it in power supply.

The expressive power of high-volume elements like the bass drum remains robust and grand. All of these improvements can be attributed to the enhancement in power supply.

し、電源の音によるものなのだ。これによって、大音量の表現力がまた強くなる。これがすべてスケッチが大きい。これが全部、PowerBook G4 NCFF18 e、TPS9 NCFFと、間や立派な表を感性的に深めて活きた良表情を描写してはハイパーモデル e・TPP09 N Fで特殊素材 N C Fで周回電圧対策を施している。

silence in the surroundings allows  
power remains robust and grand. All  
t in power supply.

る。また電源ケーブルはPowerflux-C15 NCF-18という最高峰モデルとカーボンやNCF、電磁波吸収材など強力な素材を駆使している。こちらはまた景色の描いた出方で、音場が奥へ引いて遠さが深い。パロツクではそうした空間性が効いて、楽器それぞれの位置感が自然に描き出されている。アンサンブル全体がすぐそこにあって、いびるような感覚で、力みない伸びやかな音の出方が心地よい。パロツク・ヴァイオリンの触りも全開になったイメージです。

ピアノでもワージのりな感動が目覚ま。楽器自体が見えなくなるような位置で、その周りに広がる余韻が、主をささるる。タッチに暴れが、細なニアタツに宮んで、ため息、起、伏が非常に分かりやすい。そのものに感傷が乗っている。聴こえ方を。ノイズを正しくによって微細な情報が、まうと、こういところまで出でこないのです。

コーラスは奥きと、に富んだ空間の響き、大空を響き出され、その空間に満ちているような生々しい感興に満ちた

**e-TP609 NCF + Powerflux-C15 NCF-18**

This particular setup presents a different perspective of the landscape drawing the soundstage deeper into the background, creating a sense of depth and distance.

る。空間に充満するように余韻がたつぷりしているが、その中でもハートニーが混濁することはなく、弦の端の端まで静かに溢れて新鮮なものである。

オーケストラは鮮やかな色彩感に加えて、鋭い切れが冴えわたる、音楽自らの立体感や表現の活きの良さが、層強く引き出されている。木管楽器など確かに軽快ではあるが、まろやかな肉質感を惹きつけ、それが全体的な豊かさをより上げる結果になっている。大鼓のドスの効いたアタックでも、見事だが、必要楽器のシヤブーストと張りのある輝かしさで縦横無尽に描き出されている印象がある。

●NCCB Orchestra - Sissindal-L  
立ち上がり、瞬発力を高め、音の豊かなさが増す

立上りに馴染みのケーブルフルートを聴いてみたい。これは源ザックの入口に使う。の瞬発力が高まるのを聴くため、バロックもエッジが効いて厚みが増す。またコーラスは音場に満ち渡り、切れがさらに強靱なエネルギーを余さず生かしているのが決定的である。